

第2学年国語科「聞きたいことを落とさず聞こう ～『外国の小学校について聞こう』～」

学習指導者 東 泰右

ブラジル・フランス・中国の中から、自分が選んだ国の小学校についての紹介を聞いて感想を伝え合うために、聞きたいことを落とさず聞く方法を見付け、それを活用してきました。また、今後の学習や生活に生かそうとする力を高めるために、新しく分かったことや前よりもできるようになったことを振り返り、それが生かせる場面を考えるという方法を身に付けていきました。

自分が選んだ国の小学校の紹介を聞いて、感想を伝え合おう

【見通し】



学習計画を基に、これまでに聞き方の工夫を見付けたことや、その工夫を使うとカンボジアの小学校の紹介を聞き取れたことを確認しました。本時の学習課題を確認する際は、「自分が選んだ国でも、聞き方の工夫が使える」となどと、これまでの学びを生かそうとしている姿が見られました。

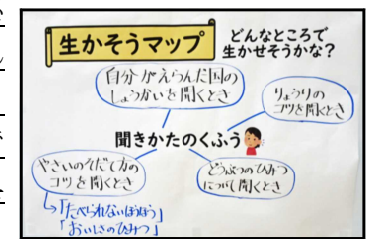
【行動】

タブレット端末とヘッドホンを用いて、自分が選んだ国の小学校の紹介を聞きました。「持ち物」「休み時間」などの聞きたいことの数と種類を選べるだけでなく、動画の再生速度も二段階から選べるようにしたことで、自分に合った方法を選択しながら学ぼうとする姿が見られました。聞き取った内容を確認し合った後は、「フランスはボールペンで文字を書くんだね。私も使ってみたいな」「書き間違えたときに困りそうだから、私は鉛筆の方がいいな」などと、感想を伝え合うことができました。



【振り返り】

新しく分かったことや前よりもできるようになったことを振り返ることで、本時の学びを明確にしました。その際、単元の導入で試しにイタリアの小学校の紹介を聞いている時の動画を提示することで、「あの時は全然聞き取れなかったけれど、今日はしっかり聞き取れた」などのように、成長を捉えやすくしました。その後、学びが生かせる場面を共有して書きためてきた「生かそうマップ」を参考にしながら、「野菜の育て方を聞く時には、『おいしさの秘密』や『虫に食べられない方法』を聞こう」などと、どんな場面でも学びが生かせるかを具体的に考えていました。



成果と課題

○聞きたい国、聞きたいことの数や種類、動画の再生速度を選択し、自分の興味や能力に合わせた方法で取り組めるような手立てが有効だった。イタリアの時の動画を見せたことで、これまでの自分と比較して成長を捉えやすくなっていた。
▲感想を伝え合うことよりも、自分が選んだ国の紹介を全て聞き取ることに意識が向いている子供がいた。単元の始めに、言語活動を設定した時のことを本時の見通し場面で想起させると、感想を伝え合うことへの意識が高まったのではないかと。